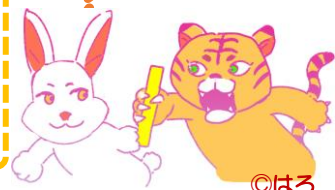




2022年振り返りと 2023年の抱負

それぞれの部門より！

ヘルパーステーション



昨年は苦手なりモート研修をいくつか受け、ちよっと進化か。今年も新しいことに挑戦しよう！
キーワードは「わくわく」平塚
昨年は無事にケアマネ更新研修が修了したので良かった。今年の抱負は、できるだけ研修に参加するように訪問と両立したい。富塚

コロナ禍で業務に気を遣い、なんとか過ごせた。今年も健康一番に考えたい。快眠、健康食、心にも栄養を！吉田
今年もコロナで皆さんが思うように生活ができなかった年だったと思うので、今年こそは楽しみを持って生活のお手伝いができるようにしたいです。山内
昨年は目の前の仕事を無我夢中でこなしていく日々でした。今年も頑張りつつも、肩の力を抜いて自分らしく仕事を楽しまたいです。袴田

コロナで始まったケアマネ部門も、利用者さんとの接触があるのでかなり注意を払いながら訪問を心掛けました。でも、普段元気な利用者さんほど人との交流が減ってしまい、鬱々となり不安感が広がっている方もいらっしゃる、ケアマネと話しをすることが唯一の楽しみになっているということもよく聞きました。今年、利用者さんのお顔の表情がもっとよくわかるように、マスクを外せる状況になると良いな、と願っています。新井

食事部

昨年も皆様には、南沢デイサービスでの昼食やちまんですり事業所での昼夕食、また配食のお弁当をご利用いただき大変お世話になりました。
昨年食事部では新たな試みとして、障がい者施設への昼食の提供を始めました。
嚥下の難しい方にも、ゆいまる弁当の調理方法と食事形態が受け入れていただけました。
ムース食等ではなく、肉・魚・野菜などもやわらかくそのままの形で提供し、喜ばれております。



配達準備の様子

南沢事業所の大家さんから手作りのお野菜を仕入れ、地産・地消にも力を入れる事が出来ました。



大家さんの野菜無人販売所

また、このところ諸般の情勢で原材料価格が何かと値上がりしましたが、仕入れ先を見直したり、自分たちで調

昨年もコロナ禍で先の見通しのつきにくい不安な一年でした。
そのような中、ご家族が陽性になりお休みを余儀なくされたヘルパーの交代に「行けますよ」と快く引き受けてくださったヘルパーの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいでした。
今年も連携を取り合い、お役に立てるよう業務に励んでいきたいと思っています。また、兎走鳥飛といわれるので健康管理をしながら日々を大切に過ごしていきたいと思っております。岩崎

一年生ヘルパー（近藤） & 先輩ヘルパー（大森） 対談コーナー



大 振り返ってみて強く心に残った事を「ことわざ」で例えるとしたら？
近 「二期一会」かな。様々な人に出会い、学ぶ中で、一瞬一瞬が温かく、時として優しく思えたので。

達に行ったり努力しています。何とか販売価格の値上げを回避していますが、非常に厳しい状況が続いております。今年も課題山積の一年になりそうですが、スタッフ一丸となり皆様の食を支えてゆく所存です。
どうぞよろしくお願いします。曾田

事務局

今年度の始めから事務局に会計ソフトを導入し、職員による会計処理が実現できました。これまでは顧問税理士にデータを送り入力処理等はお任せだったので、事務局職員2名の事務量も半端なく増えました。しかし帳票を活用して予算対実績や前期比較など、法人全体及び部門別の経営状況がリアルタイムに把握できるようになりました。各部門に置かれましては、ぜひ今後の事業の展開において活用していただければと願っております。

昨年度からの取り組みで、非常勤職員から常勤職員への転換制度を就業規則に盛り込み、キャリアアップ計画書を策定、計画に沿って10月から1名が常勤職員となりました。介護人材難の中で、職員の定着を図るための一方策です。これにより、6か月後には国のキャリアアップ助成金制度の活用も図れることとなります。また、国の「介護職員等処遇改善支援補助金」を活用して職員給与の改善が図れたのは良かったのですが、今後は処遇改善計画も実績報告も3本立てとなり、事務処理がますます煩雑・困難になることが危惧されます。
コロナ禍の3年間、希望する職員への都・市の制度を活用した検査の実施や、衛生用品などのかかり増し費用に対する補助制度の活用を行ってきました。今後も、アンテナを張りつつ、介護報酬以外での「稼ぐ」事務局を、地味ながら有言実行してまいります。奥村

大 各々個性があり、価値観、感じ方、思いも違う。支援する私達も同じです。先輩ヘルパーさん達に聞いてみたいことはある？
近 まだまだ知識や常識も無くて、「これでもいいの？」と自信がなくなったり。そんな時、皆さんはどうしてますか？
大 私個人としては「失敗から学ぶ」と思うようにしてる。自然体で接したい。近 「私で良いのかな？」って、不安にもなってます。
大 「若い世代」というメリット・デメリットもある。物はとりよう。成長が楽しみ！今後の抱負を聞かせて下さい。
近 医療的ケアに挑戦できた昨年に続き、今年も介護福祉士の試験！これからも頑張ります。

ゆいまるはちまん

2022年は、1月に、利用者、スタッフのコロナ感染が続き、通い利用が暫くお休みになりました。
毎月の外出やイベントなど、コロナ禍を超えて、久し振りに活発に取り組み始めた矢先でした。
しばしのお休みを経て、12月から改めて再スタート！

常日頃忘れがちですが、利用者さんもスタッフも、毎日元気で、食事が美味しく、何気ないことに笑いあって、また明日も会える……。
そんな代り映えの無い当たり前の日々が、かけがえのない幸せなんだと、改めて実感しました。
今回の出来事を力に、スタッフの強いチームワークで、利用者さんやそのご家族、みなさまの笑顔が沢山見られますよう、2023年も創意工夫し、頑張っていきたいと思えます。田中

芋ほりフェスティバル

ゆいまるでは、南沢事業所の大家さんが作付けたジャガイモとサツマイモを提供いただき、近隣地域の子どもさんのいるご家庭に呼びかけて「芋掘りフェスティバル」を催しています。
この活動は2020年から始め、6月末にはジャガイモ掘り、10月末にはサツマイモ掘りを毎年2回行いながら3年目になりました。
ゆいまるの事業は、地域と共生し地域に貢献することが創業の理念であり、南沢事業所の開設によりこの趣旨にご賛同いただいた大家さんからこの場と機会を提供いただいています。
写真でご覧いただきますように、多くの子どもとお父さん、お母さんが共に土いじりをしながらジャガイモあるいはサツマイモと一緒に袋詰めして持ち帰ります。2020年の最初のさつま芋ほりは子ども11名、親18名の29名でしたが、3回目では子ども39名、親25名の合計64名に倍増し、だんだん地域に根付いてきたように実感しています。
作付けから除草、施肥、収穫後の残菜の後片付けまで、大家さんの多大なご尽力により開催できるフェスティバルで改めて感謝申し上げます。



南沢デイルーム

2022年もコロナの一年でした。この3年間、デイの介護保険外イベントもずっとできていませんでした。終息を待っていても、いつになるのか……利用者さんからの要望もあり、先日3年振りに「夜の食事会」を行いました。東久留米にある洋食屋さんを貸し切り、美味しいコース料理を堪能し、みなさんと楽しい時間を過ごすことができました。おしゃべりをして参加してくださったり、普段は利用日が違う方たちとの交流など……。そんな皆さんを見て、やってよかったなと思いました。

今年もまだまだコロナに振り回されそうですが、皆さんの笑顔とやる気を引き出せるデイを目指して、頑張っていきたいと思えます。中村



	ジャガイモ掘り			サツマイモ掘り		
	親	子	計	親	子	計
2020年	-	-	-	18	11	29
2021年	11	15	26	20	24	44
2022年	13	22	35	25	39	64

